



大阪市 はるなクリニック

導入機器：プロテクノ PNF×2
導入時期：2003年5月

施設の紹介と地域の特徴をお聞かせ願えますか？

——この辺りは古くから住まれている方と、新しく越されてきた方と2極化してますね。新大阪や梅田に近いということもあり、新しいマンションも多いです。子どもさんをもっている若い家族層と古くからのお年寄りの層がいて、患者層の幅が広いのが特徴でしょうか。また、このへんは医療機関がとても密集していますね。そういう意味でも地域密着型で、かかりつけ医として診られる範囲のものはできるだけ診ようというのが当院の姿勢です。

プロテクノ PNF 導入の経緯について教えてください。

——最初は飛び込みで営業の方が来られ、ちょっと面白そうだったので、機械を持ってきていただき、実際に体感をさせていただきました。そうしたら、確かにこれは他の機械と違う効果がありそうだなという実感がありましたね。とくにうちはペインクリニックという痛みの治療を中心にしているので、なかなか従来のやり方だけでは痛みの取れない患者さんが多くやってこられます。当院では、神経ブロックを武器にし、東洋医学的なアプローチ、例えば漢方とか鍼灸治療とかもやっているのですが、PNFはそれプラスアルファの効果が期待できるなと思って導入させていただきました。

デモの際の患者様の反応はいかがでしたか？

——結構よかったですね。デモ自体はそんなに長い期間ではなかったですが、患者さんからいい反応が返ってきましたよ。



『これは使えるな』という
実感がありますよ。

春名 優樹 院長

プロフィール

1957年9月18日生。S55年京大文学部卒。S60年大阪大学医学部卒。H6年大阪大学大学院医学研究科博士課程卒。関西労災病院、大阪府立病院、国立循環器病センター、大阪大学医学部、市立豊中病院の勤務を経て、H12年よりはるなクリニック院長。



導入に踏みきる大きな理由はありましたか？

——マルチプルに使えるというのが一つ大きな理由ですね。たとえば内臓脂肪のコントロール、最近では皮下脂肪も含めています。脂肪コントロールができる、また、グローブを使った顔の引き締めなどの簡単なフェイシャルも、難しい経験なしで比較的効果が期待できる。つまり保険診療枠プラスアルファの用途が期待できる。正直なところ対疼痛疾患だけの目的だったら導入は難しかったと思います。やはり保険診療も使えて実費にも両方使う可能性があるというのがポイントでしたね。ただ、実際のところ実費枠はまだまだ少ないです。これから少しずつ増やしていこうとは思いますが、通常的一般診療での使用が大部分で、今のところほとんどは疼痛疾患の患者さんですね。

プロテクト PNF をお使いになって、印象に残るような症例がありましたか？

——最近、ブロック注射を行っている顔面神経麻痺の患者さんに、プローブ導子を使った筋肉のトレーニングを行ってみました。顔面神経麻痺は筋肉が麻痺してますから、顔がだらっとしてしまうんですね。だけどグローブを試した後に、筋肉の動き方や感じ方に違いがあったらしく、患者さんも効果をととても実感していましたね。顔面神経麻痺の患者さん自体が少ないので、まだほんの一例ですけど「これは使えるな」という実感はあります。

ブロック注射とプロテクト PNF の併用についてもう少しお聞かせください。

——現在ブロック注射をした患者さんのうち半分くらいはプロテクト PNF を併用しています。治療の流れですが、まず神経ブロック注射をします。そのあと安静に横になっていただかなくてはいけないので、その間に PNF をかけるというやり方です。ギックリ腰などの急性の痛みものには、まず神経ブロックをしてしばらくした後、体を動かし痛みの評価をして、痛みの残っている部分を見つけ、少し運動させながら PNF をかけてみます。そうすると、痛みをかなり軽減することができますね。神経ブロック注射は痛みをとるだけでなく血流をよくする効果もありますから、PNF でダメ押しのような感じで筋肉を修復すると神経ブロックの効果が一層よくなります。相性は非常に良いですね。以前はこの「とれない痛み」に対して針治療を併用していたのですが、針治療は痛いから嫌だという人もいますし、広範囲には刺激することができません。針でもかなり深い筋肉を狙っていたのですが、簡単かつ広範囲に深い筋肉にアプローチできるプロテクト PNF は、針と比較しても非常にいいですね。

特にこの症例には効き目があるというのは？

——ギックリ腰などの急性の痛みにはとてもいいですよ。ひとつ別の例なのですが、どうしても取れない踵の痛みを抱えた患者さんがいて、いろんな病院を周ってうちに来たんですね。一年以上痛みが取れなかった。それが、PNF をやるたびにどんどんよくなって、最後は痛みがなくなりましたね。患者さんにとても感謝されましたよ。…ただ、その患者さんに今度肘の痛みがでてきて、それは残念だったけど効かなかったんですね（笑）。やはり、全ての痛みに万能とはいきませんが、うちはペインクリニックなので神経ブロックとうまく組み合わせるとある程度はコントロール可能です。いずれにしても、機械的には安定しているし、形状も使いやすく、現場ではかなり信頼して使わせてもらっていますよ。今後は疼痛疾患だけでなく、脂肪コントロールや美顔（たるみ改善など）にも利用して行きたいと考えています。



ありがとうございました。

INFORMATION

TEL 06-4807-5130 FAX 06-4807-5131
住所 大阪市淀川区西三国 1 丁目 3 番 13 ウイング青山 202 号室
診療時間 9:00 ~ 12:30、3:30 ~ 7:30 (リハビリは 7 時まで)
休診日 水曜・土曜日午後、日曜・祝日
診療科目 ペインクリニック、内科、小児科、東洋医学（漢方）、アレルギー科、
リハビリテーション科
URL <http://www.haruna-clinic.com>
E-mail なし

